

ChibaTechNews

No_704 | 2026年3月号 | 千葉工業大学 入試広報部

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

令和8年度 一般選抜志願者数 2年連続16万人超え —志願者総数は160,170名。新設方式やC日程が大幅増—

3月4日(水)実施のC日程入学試験をもって、令和8年度一般選抜の全日程が終了し、最終的な志願者状況が確定した。志願者総数は延べ160,170名(昨年比99%)を数え、昨年度に引き続き16万人を超える結果となった。少子化による志願者減少や昨年的大幅増の反動が懸念される中でも、受験生からの高い関心が改めて示された。

本学の一般選抜は、2月上旬に実施するA日程・SA日程、中旬のB日程・SB日程、3月上旬のC日程という大学独自の入試に加え、大学入学共通テストを利用する入試(前期・中期・後期)、「5教科基準点型(共通テスト利用)」など、複数の方式を設けている点が特徴である。

今年度より新たに導入された「5教科基準点型(共通テスト利用)」は3,258名の志願者を集めた。国公立大学併願層をはじめとする幅広い受験生層に対し、新たな受験機会を提示できたといえる。また、入試の主軸となる「共通テスト利用(前期)」は64,867名(昨年比101.3%)、「A日程」は31,763名(同102.2%)、「SA日程」は13,376名(同100.8%)と、いずれも昨年度を上回る結果となった。

特筆すべきは「C日程」の躍進である。志願者数は6,463名に達し、昨年度(4,097名)から約1.6倍の大幅増となった。入試の最終局面まで本学への入学を志望する受験生が多かったことを示している。

なお、3月4日に実施されたC



日程では、福島県内での倒木による停電の影響で、東京～盛岡間の新幹線が早朝から約3時間半にわたり上下線で運転を見合わせた。この影響を受け、本学会場および仙台会場では一部の受験生に対し試験開始時刻を繰り下げる措置を取り、受験生が不利益を受けないよう配慮した。

一方で、共通テスト利用入試(中期・後期)やB日程では志願者が前年を下回る結果となったが、全体としては高い競争倍率を維持し、質の高い学生確保につながる入試結果となった。4月からは、これらの厳しい関門を突破した意欲あふ

れる新入生を迎え、全学で展開する生成AI教育をはじめとする革新的な学びを提供していく。

2026年度志願者数

	試験種	2026年度	2025年度	増減数
一般選抜 入学試験	5教科基準点型(共テ利用)*	3,258	-	3,258
	共通テスト利用(前期)	64,867	64,034	833
	共通テスト利用(中期)	8,040	11,350	-3,310
	共通テスト利用(後期)	6,689	8,694	-2,005
	A日程入学試験	31,763	31,074	689
	SA日程入学試験	13,376	13,274	102
	B日程入学試験	17,047	19,033	-1,986
	SB日程入学試験	8,667	10,449	-1,782
	C日程入学試験	6,463	4,097	2,366
一般選抜計		160,170	162,005	-1,835

※2026年度新設

B日程入学試験1日目(2月17日)
試験会場の様子

[CONTENT]

[P2]微弱な信号を捉える次世代センシングの基礎原理を確立／世界初、ガスハイブリッドロケットで「推力方向制御(TVC)」を地上燃焼試験で実証
[P3]アリゾナ州立大学(ASU)英語研修を実施／未来ロボティクス学科チームAI-Formula 第2回プレレース

大会で「三冠」の快挙
[P4]佐藤さん「優秀発表賞」受賞／土居ノ内さん「優秀口頭講演賞」受賞／石仙さん「卒業論文優秀賞」受賞／井上さん「卒業論文優秀賞」受賞／戸田さん「第59回粟屋潔学術奨励賞」受賞／中村さん「第59回粟屋潔学術奨励賞」受賞

[P5]飯高さん「優秀論文賞」受賞／平川さん「ポスタープレゼンテーション賞」受賞／中村さん「ベストポスタープレゼンテーション賞」受賞／デザイン科学科1年生・星光さん ラジコン・ドリフト世界大会で念願の初優勝
[P6]知の探究、社会と共に一公開講

座を開催／就職・進路支援便り
[P7]定年退職の皆さん
[P8]国立科学博物館「大学パートナーシップ」を継続加入／「かつうらビッグひな祭り」に金田研究室が参加／出版のお知らせ／令和8年度入学式のお知らせ／2月のできごと／4月のスケジュール

微弱な信号を捉える次世代センシングの基礎原理を確立

—情報変革科学部 信川創教授らの研究グループが発表—

情報科学研究科の信川創教授(数理工学研究センター 非常勤主席研究員)と、ベトナムのハノイ国家大学工科大学から留学した博士後期課程3年のAnh Tu Tranさんを中心とする研究チームは、極めて微弱な信号を高精度で検出するための新しい制御手法「DGA-RRO法」を開発した。本研究成果は、1月12日(月)付で米国電気電子学会の国際学術誌「IEEE Access」に掲載され、高い評価を受けている。

私たちの身の周りには、小さな信号が数多く存在してい

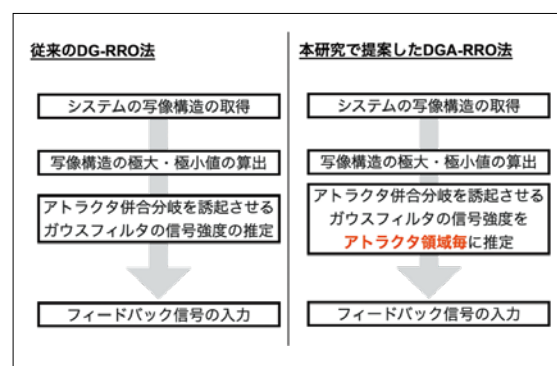
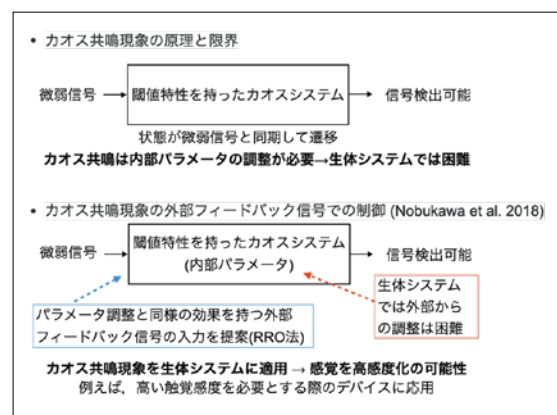


信川創教授(左)とAnh Tu Tranさん

るが、医療用センサーや通信機器などにおいて、こうした微弱信号を正確に検出する技術は現代工学の重要課題となっている。研究チームが着目したのは「カオス共鳴」と呼ばれる物理現象。これは、不規則な振る舞い(カオス)を示すシステムが、外部からの微弱な信号と自然に同期し、その信号を増幅して検出可能にする現象を指す(右図上参照)。通常、工学では抑制・除去の対象となるカオスを、あえて積極的に活用するという逆転の発想に基づく技術であり、次世代センシングの基盤として世界的に研究が進められている。しかし従来の制御手法は、システムの状態変化の軌跡が「対称構造」を持つことを前提としており、現実の電子回路や生体神経系は完全な対称性を持たず、わずかな「歪み(非対称性)」を含んでいる。この非対称性が原因

で、従来法では信号検出感度が著しく低下するという課題があった。

そこで研究チームは、システム軌跡の領域ごとに独立した強度のフィードバック制御を行う新手法「DGA-RRO法」を開発。本手法では、システムの歪みに応じて局所的に制御パラメータを最適化することにより、非対称なシステムでも高感度なカオス共鳴を安定して誘発することが可能となった(右図下参照)。その結果、3つの優位性が実証された。1. 歪みが大きい場合でも高い信号検出感度を維持、2. 従来法より少ないエネルギーでカオス共鳴を誘発、3. 外部ノイズや内部揺らぎを含む実環



境条件下でも高い安定性を確保

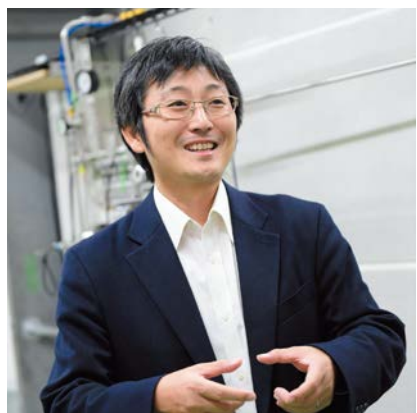
本研究成果は、通信システム、パワーエレクトロニクスなど、微弱信号処理が求められる幅広い工学分野への応用が期待される。

世界初、ガスハイブリッドロケットで「推力方向制御(TVC)」を地上燃焼試験で実証

—気球から宇宙へ:ロックーン実現へ向けた大きな一歩—

惑星探査研究センターの和田豊教授(工学部 宇宙・半導体工学科)らは、1月23日(金)、御宿ロケット実験場において、ガスハイブリッドロケットと推力方向制御(TVC: Thrust Vector Control)装置を組み合わせた地上燃焼試験を実施し、世界で初めて、燃焼中に推力の向きを変える動作確認に成功した。

本成果の背景には、本学が研究・開発を進める「ロックー



和田豊教授

ン(Rockoon)方式」がある。これはロケットを気球で成層圏まで運び、空中から発射する方式である。成層圏は空気が非常に薄く、空力舵面(空気の流れて姿勢を制御する翼など)が効きにくい環境である。そのため、ロケットの姿勢(向き)を安定させるには、燃焼中にエンジンの向きを変えて推力の向きそのもので操るTVCが重要となる。

今回の試験では、燃料をガス化して燃焼させるガスハイブリッドロケットを用い、構造の簡略化も図った。さらに、燃焼中にTVC装置でロケットモータを横方向に動かし、推力を偏向させる(推力の向きを変える)実験を実施した。推力2.0 kN、燃焼時間8.0秒の条件下で、6分力ロードセル(多方向の力を同時に計測する装置)の計測値と映像に

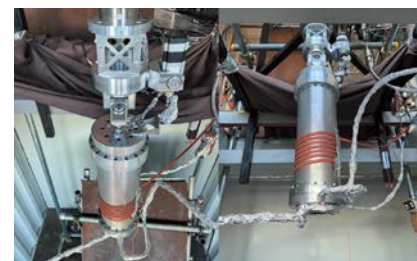
より、TVC装置の動作と推力偏向の達成を確認した。

「ガスハイブリッドロケットを用いたTVC地上燃焼試験の実証が世界初」である点で、本成果はロケットの姿勢制御技術の高度化に直結し、将来的な衛星打ち上げ技術の発展につながる重要な節目である。今後は、TVC装置の応答性(指令に対する速さ)および推力偏向の追従性(狙った向きにどれだけ正確に合わせ続けられるか)をさらに高め、フライト試験による実証を目指す(Hestiaプロジェクト)。

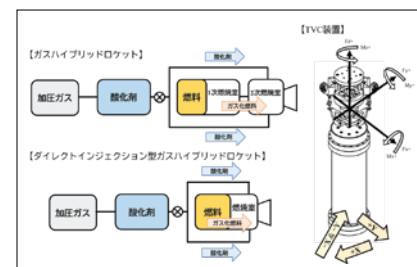
本研究は、AstroX株式会社をはじめとする企業・機関との連携のもと進められており、大学と産業界が協力して宇宙分野の研究開発を推進している。



推力方向制御装置を用いた燃焼試験の様子



ガスハイブリッドロケットとTVC装置の外観



ガスハイブリッドロケットの模式図とTVC装置

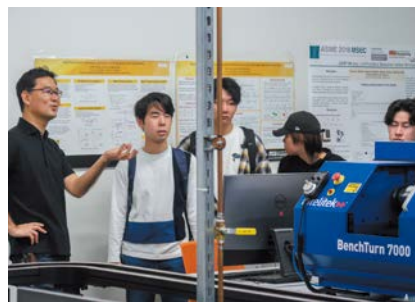
グローバルな視点を養う ―アリゾナ州立大学(ASU)英語研修を実施



2月2日(月)から3月2日(月)までの4週間、アメリカ・アリゾナ州フェニックスにおいて「アリゾナ州立大学(以下ASU)英語研修」が実施され、54名の応募者から選ばれた30名が参加した。本プログラムは、戦略的パートナーシップを結ぶ、「最も革新的な大学」に10年連続全米1位に選ばれたASUを舞台に、集中的な英語学習と異文化体験を通じて、英語力の向上と国際的な視野を広げ、創造力豊かな国際人の養成を図るものである。加えて、研修期間中には、ASUの小林佳弘教授をはじめ、複数のASU教員・関係者の協力のもと、専門分野に関わる教育研究設備の見学機会も設

けられ、学生たちはASUにおける先端的な学びと研究環境の一端に触れることができた。こうした取り組みは、単なる語学研修にとどまらない、ASUとの密接な連携のもとで実現している本学ならではの国際教育の特色といえる。

参加学生はASUでの4週間にわたる英語集中講義に出席。コミュニケーション能力の基礎を



固めるとともに、期間中はホームステイを通じて現地の生活文化に深く触れた。砂漠とモダンな都市が融合するアリゾナの環境下で、教室での学びを超えリアルな英語体験は、学生たちにとって大きな刺激となった。

研修を終えた直後の3月5日(木)、津田沼キャンパスにおいて「帰国報告会」が開催さ



れ、現地で得た成果を発表し合った。

参加学生が6つのグループに分かれ、現地での学習や生活についてプレゼンテーションを行った。各グループからは、語学力の向上にとどまらず、異文化の中で身をもって学んだ「主体性」「多様性への理解」「積極性」の大切さについて、実体験に基づく報告が相次いだ。「言葉の壁を恐れず、自らアクションを起こし、チャレンジする姿

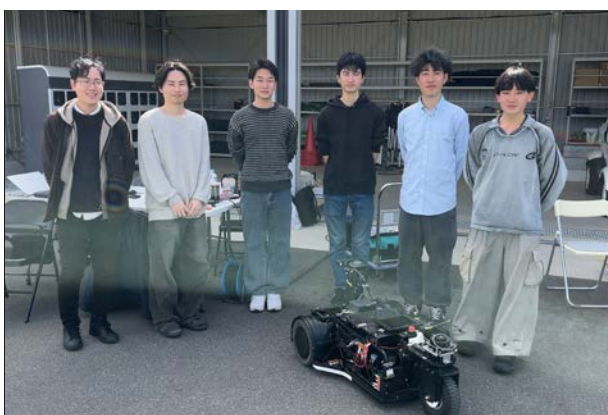


勢が大切」という共通の学びが、参加者全員の自信に満ちた表情からもうかがえた。

参加者の佐久間さん(建築1年)は、「グローバル化する社会において、海外の人々とどうすれば理解を深められるのか、彼らがどのような価値観を持っているのかを肌で感じたいと思い参加しました。現地での生活は刺激に満ちており、特にスピーキング能力の向上を実感しています。また、国籍を超えた多くの友人ができたことも大きな財産です。この経験を糧に、より滑らかに自分の考えを伝えられるよう、今後も継続して単語の学習などに励んでいきたいです」と語る。

今後もASUとの強固なネットワークを活かし、学生が世界を舞台に挑戦し、多様な価値観を吸収できる機会を積極的に提供していく。

未来ロボティクス学科チーム AI-Formula第2回プレレース大会で「三冠」の快挙



左から白井さん、河西さん、馬場さん、
會田さん、藤野さん、山下さん

未来ロボティクス学科(担当教員:林原靖男教授)のチームが参加する「AI-Formula第2回プレレース大会」が2月23日(月・祝)、茨城県常総市の「AIモビリティパーク紫峰」において開催された。

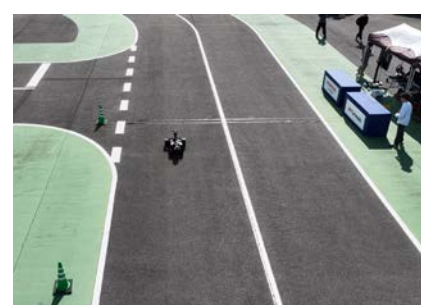
昨年の第1回大会で2冠を達成し、本紙11月号でもその動向を追ってきた同チーム。新

たに2大学が加わり計5チームで競われた今大会において、「ベストタイム賞」「ベストラップ賞」に加え、新設の「ベストチャレンジ賞」をも射止める3冠の快挙を成し遂げた。

今大会ではレギュレーション(規則、制限等)が刷新され、コースアウトや障害物への接触が即座にタイム無効となるなど、実社会の自動運転に近い厳格な運用が求められた。チームはこの厳しい条件に対し、単なる高速化ではなく「確実に動作するシステム」を追求。実験走行での試行錯誤を重ね、時速約20km超(6m/s)という高速域を維持しながら、的確に

障害物を回避して完走した。

今年度から新設された「ベストチャレンジ賞」は、自律走行に用いられた技術の難易度が最も高かったチームに贈られる。モビリティの操縦性の改良に向けたメカニズムの変更やセンサ導入による回路基板の作成、レーンを走行しながら障害物回避を行う自律走行システムの開発など、多岐にわたる開発が審査員から高く評価された。山下さんは「2年連続の優勝を嬉しく思う。機械学習の導入など新たな試みが実を結び、ベス



自動走行中の様子

トチャレンジ賞に繋がった。この経験を糧に、将来はより複雑な環境下でも安全な自律走行システムの構築に挑戦したい」と語る。



三冠の賞状とトロフィー

受賞おめでとう



授与団体・受賞名称

一般社団法人日本福祉工学会
第29回学術講演会
第11回(2025年度)
「優秀発表賞」

車いすに取り付けたベルト駆動式
走行ユニットの走行評価

さとう りんたるう
佐藤 凜太郎 さん

機械工学専攻修士2年

高橋芳弘研究室

受賞日
2025/11/29

詳細は
コチラ >>>



授与団体・受賞名称

材料技術研究協会
2025年度
材料技術研究協会討論会
「優秀口頭講演賞」

酸化亜鉛/水酸化鉄複合粒子の
水熱合成および光触媒活性能

どいのうち りくと
土居ノ内 陸斗 さん

応用化学専攻修士1年

柴田裕史研究室

受賞日
2025/12/5

詳細は
コチラ >>>



授与団体・受賞名称

公益社団法人
千葉県情報サービス産業協会<CHISA>
令和7年度 千葉県内大学による
卒業論文発表会「卒業論文優秀賞」

連合プロンプト学習を用いた
ドメインシフト耐性の高い
新規異常検知手法に関する研究

こくせん りひと
石仙 理人 さん

知能メディア工学科4年

宮田高道研究室

受賞日
2026/2/18

詳細は
コチラ >>>



授与団体・受賞名称

公益社団法人
千葉県情報サービス産業協会<CHISA>
令和7年度 千葉県内大学による
卒業論文発表会「卒業論文優秀賞」

LLMを用いたプログラム開発時における
ソースコード内の機密情報漏洩防止
機構の設計と開発

いのうえ だいすけ
井上 大輔 さん

知能メディア工学科4年

今野将研究室

受賞日
2026/2/18

詳細は
コチラ >>>



授与団体・受賞名称

一般社団法人 日本音響学会
日本音響学会
第154回(2025年秋季)研究発表会
「第59回栗屋潔学術奨励賞」

オペラ歌唱における頸椎後弯を用いた
音高調節機構の検討

とだ なつき
戸田 菜月 さん

工学専攻博士後期3年

竹本浩典研究室

受賞日
2026/3/18

詳細は
コチラ >>>



授与団体・受賞名称

一般社団法人 日本音響学会
日本音響学会
第154回(2025年秋季)研究発表会
「第59回栗屋潔学術奨励賞」

正中面の頭部伝達関数の
空間的卓越帯域が上昇角知覚に
及ぼす影響

なかむら ふうか
中村 風香 さん

工学専攻博士後期1年

飯田一博研究室

受賞日
2026/3/18

詳細は
コチラ >>>



ございます！



授与団体・受賞名称

情報処理学会高度交通システムと
スマートコミュニティ研究会
第117回モバイルコンピューティングと
新社会システム・第103回高度交通システムと
スマートコミュニティ合同研究発表会
「優秀論文賞」

集合知に基づく
複数スマートフォン加速度データの
環境ノイズ低減型震度推定

いいだか ともひろ
飯高 智広 さん

情報科学専攻博士後期2年

屋代智之研究室

受賞日
2026/3/2

詳細は
コチラ >>>



授与団体・受賞名称

公益社団法人砥粒加工学会
卒業研究発表会
「ポスタープレゼンテーション賞」

電解硫酸に浸漬した
窒化ガリウムの表面状態

ひらかわ ようた
平川 陽大 さん

先端材料工学科4年

坂本幸弘研究室

受賞日
2026/3/6

詳細は
コチラ >>>



授与団体・受賞名称

公益社団法人砥粒加工学会
卒業研究発表会
「ベストポスタープレゼンテーション賞」

モード変換型パルスマイクロ波
プラズマCVDによるダイヤモンド合成

なかむら ゆ な
中村 優菜 さん

先端材料工学科4年

坂本幸弘研究室

受賞日
2026/3/6

詳細は
コチラ >>>



ほし ひかる
デザイン科学科1年生・星光さん ラジコン・ドリフト世界大会で念願の初優勝
R.C.D.C. WORLD CHAMPIONSHIP 2025 初代世界王者に

デザイン科学科1年生の星光さんが、2025年12月5日(金)から7日(日)にかけて中部国際空港セントレア(所在:愛知県常滑市)で開催された「R.C.D.C. WORLD CHAMPIONSHIP 2025」に出場し、初代世界王者に輝いた。世界各国からトップドライバー約150名が集結する大会で、圧倒的な走りを披露し頂点に立った。

R.C.D.C. WORLD CHAMPIONSHIPは、ラジコンカーによるドリフト競技の

世界大会である。ドリフト競技は、単に速さを競うのではなく、コーナーで車体を滑らせながら走行する技術やライン取り、姿勢の安定性、表現力などを総合的に評価する競技であり、操縦技術に加えてマシンのセッティングやデザイン性も重要な要素となる。本大会は、全国15大会の上位120名と世界13か国から選ばれた31名、約150名が出場できる、ラジコン・ドリフト競技の最高峰とされている。

星さんは昨年全国大会で2位という成績を収めており、その実績から今年はシード選手として世界大会に出場した。約9年間にわたり競技に挑戦してきた星さんは、念願の舞台



世界大会出場者

で初優勝を果たし、「この大きな舞台で世界1位という夢を実現できた。ここまで来られたのは、両親をはじめ支えてくれた多くの方々のおかげだ」と喜びを語っている。

ミニカーをきっかけにラジコンに興味を持ち、小学生の頃から大会に出場してきた星さんは、現在メーカーと専属ドライバー契約を結び、ラジコン制作のデザインやロゴデザインにも

携わっている。デザイン科学科での学びも競技活動に生かされており、競技とデザインの両面から表現力を磨いている。

また、2026年2月7日(土)にイオンモール幕張新都心で開催された「RC MASTERS」決勝大会でも優勝を果たした。長期休暇制度を活用して海外大会にも積極的に参戦するなど、世界のトッププレイヤーとしての活躍から今後も目が離せない。



世界大会優勝時

知の探究、社会と共に ― 公開講座を開催
ビジネスの最前線から古典文学まで、多彩な学びを地域へ提供

津田沼キャンパスを会場に、1月から2月にかけて公開講座が開催された。社会人を対象とした本講座では、経営学の最新潮流や英語文学の深層に触れる3つのコースが開講され、多くの受講者が熱心に耳を傾けた。

教育センター英語教室の橋本修一教授による2つの文学講座では、時代を超えて愛される物語を、専門的な知見から読み解いた。



経営の新潮流講座

パーパス経営・健康経営・進化型組織統制の探究

未来変革科学部の新谷幸弘教授による講座では、昨今のビジネス界で関心の高い「パーパス経営」や「健康経営」をテーマに掲げた。従業員のウェルビーイング（心身の健康と幸福）への投資が、いかに企業の持続的な成長に直結するかを整理。後半には「アジャイル経営」や自律分散型の「進化型組織」を取り上げ、変化の激しい現代において、組織がいかに柔軟に、かつ自律的に機能すべきかという実践的な指針が示された。

英語文学教養講座

『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団』

シリーズ第5作を全4回にわたって読み解く講座で、物語の核心へと迫る展開が丁寧に解説された。英語原文を通じて作品の世界を深く味わう内容となった。

シェイクスピア『オセロ』

シェイクスピアの悲劇「オセロ」を全4回で読み解く講座で、登場人物の心理や時代背景とともに丁寧に読み進めた。古典英語文学の魅力を現代的な視点で掘り下げる内容が参加者に好評を博した。

就職・進路支援便り

資格・検定・語学能力開発支援講座のご案内

大学では、就職活動や自己啓発への支援として、学生の皆さんのニーズに合わせた各種資格検定支援講座を準備しています。毎年ニーズや内容を見直しのうえ講座内容を充実させ、より理系学生の夢の実現に近づける内容で展開しております。この度、2026年度の実施概要が決まりましたので、お知らせいたします。大幅な割引価格で提供する講座や、一部資格講座においては、割引価格に加えて合格者へ更に奨励金（講座料金の約40%、条件あり）を支給する制度がありますので、是非ご活用ください。また、長期休暇中に受講できるよう、一部講座の開講期間等を変更しております。各講座詳細と受講料及び奨励金支給条件は、時期に合わせて学生向けメール配信等でお知らせいたします。

3年生・修士1年生向け支援

4月も、千葉工大生を積極採用する企業が集まる「学内合同企業説明会」、及び各企業の「個別説明会」を実施予定です。日程等の詳細は、メール配信でお知らせいたします。スムーズな就職活動のためにも、積極的に参加してください。4月に入ると、一部企業はエントリーを締め切る場合もあります。何をしたら良いかわからない、なかなか進めないといった悩みがあれば、就職・進路支援部にご相談ください。就職システムからの個人面談予約も可能です。

2026年度 資格・検定取得支援講座および語学能力開発講座

講座名	回数(年)	開講期間	開講方法	受講金額	備考
公務員試験対策講座(技術)	1回	5月～翌年6月	オンデマンド	56,000円	—
知的財産管理技能検定3級	1回	10月～11月	対面	無料	※2
秘書技能検定2級	2回	5月～6月 10月～11月	オンデマンド	18,700円	※1
FP技能検定受験対策講座3級	2回	8月～10月 1月～2月	オンデマンド	13,770円	※1 ※2
ITパスポート	2回	8月～12月 1月～6月	オンデマンド	17,500円	※1 ※2
情報セキュリティマネジメント	2回	8月～12月 1月～6月	オンデマンド	17,850円	※1 ※2
基本情報技術者	2回	4月～10月 10月～4月	オンデマンド	29,000円	※1 ※2
電気主任技術者三種	1回	1月～7月	オンデマンド	未定	※1
特別英会話トレーニング講座	1回	6月～7月	対面・実習	5,000円 (昨年度実績)	—
TOEIC L&Rテスト英語[450点]	2回	5月～7月 9月～11月	対面・ライブ配信	無料	※3
TOEIC OLPC(400点以上対象)	通年	約1年間	オンデマンド	18,700円	—

※1…語学力検定以外の資格検定について原則合格者には奨励金を支給(講座料金の約40%)
※2…教養特別科目「キャリアアップラーニング」指定資格 ※3…テキスト代のみ自己負担

定年退職の皆さん

3月に定年を迎えられた
教職員の皆さんを紹介します。
大学と学生たちに、思い出と励ましの言葉を
残してくださいました。
(敬称略)



おおぜき ひろし
大関 浩
機械工学科・准教授
皆様には感謝しかありません。ありがとうございました。



なかの かつひこ
中野 克彦
建築学科・教授
千葉工大の15年間は全速力で走り切った感じです。これからは、ゆっくりと見守ります。



かまた もとひろ
鎌田 元弘
都市環境工学科・教授
創立100年を目指し、難関も教職協働で突破してください。本学OBとして見守り続けます。



かわい こうた
河合 剛太
生命科学科・教授
29年間にわたり、研究を楽しませていただきました。ありがとうございました。



せき ひであき
世木 秀明
情報工学科・准教授
36年間、多くの学生の成長する姿が励みとなりました。今後100周年に向け、さらなる発展に期待しております。



いわした もとひこ
岩下 基
経営情報科学科・教授
16年間の教職員の皆様のご厚情に感謝申し上げます。



すがわら まさひこ
菅原 昌彦
教育センター(情報変革科学部)・教授
長い間お世話になりました。人生は粒子波動の2重性ゆらりゆらりとまっすぐに行く、の精神でこれからも頑張りたいと思います。



りょう いしやう
廖 伊庄
教育センター(未来変革科学部)・教授
長い間大変お世話になりました。皆様のご健康とご活躍を祈ります。



おの でら しげのり
小野寺 茂則
法人事務局・事務職員
皆様に支えられて長い間勤めることができました。ありがとうございました。



すずき かずひこ
鈴木 一彦
総務部・事務職員
長年のご厚情に深く感謝申し上げます。本学が100周年に向け、さらなる発展を遂げられますことを心より願っております。



ひらた ゆきお
平田 幸夫
総務部・事務職員
お世話になりありがとうございました。



いはし のりこ
伊橋 範子
学務担当・係長
長い間お世話になりました。



こにし まもる
小西 守
新習志野学生担当(労務)・警備員
第二の人生10年間、ありがとうございました。



のぐち やすひろ
野口 泰宏
新習志野学生担当(労務)・警備員
大変お世話になりました。皆様のご多幸をお祈り致します。

国立科学博物館「大学パートナーシップ」を継続加入

— 学生証の提示で常設展無料、特別展も割引料金での観覧が可能 —

独立行政法人国立科学博物館（東京都台東区）が運営する「大学パートナーシップ」に継続加入した。本制度は、大学と国立科学博物館が連携し、学生の科学リテラシー向上を目的として展開する事業であり、平成17年度の開始以来、令和8年1月現在で全国83校が加入している。

加入により、学生（学部生・大学院生）は上野公園内にある国立科学博物館（日本館・地球館）および附属自然教育

園（港区白金台）、筑波実験植物園（茨城県つくば市）において、学生証を提示することで右記の特典を享受できる。

国立科学博物館は、約11,300㎡の展示面積を誇る国内最大規模の科学系博物館であり、令和8年度の特別展には「超危険生物展 科学で挑む生き物の本気」（3月14日～）などが予定されている。理工系・文系を問わず全ての学生が科学や自然に触れる機会として、ぜひ積極的に活用してほしい。

＜主な特典内容＞

- 1. 学生の無料入館（上野本館常設展、附属自然教育園、筑波実験植物園）
※授業の一環で学生を引率して来館した教職員は、教職員証等の提示により無料
- 2. 上野本館特別展の割引入場（630円引き）
- 3. サイエンスコミュニケーター養成実践講座 優先受入れ及び受講料割引
- 4. 大学生に向けたオンライン講座等 優先受入れ及び受講料割引
- 5. 博物館実習 優先受入れ及び実習費割引



日本館航空写真



地球館3階 大地を駆ける生命

「かつうらビッグひな祭り」に 金田研究室が参加 地域の春を彩る祭りで、 大学紹介・研究活動を発信

外房に春の訪れを告げる「かつうらビッグひな祭り」が、2月21日（土）から3月3日（火）まで勝浦市で開催された。市芸術交流センターキュステや勝浦中央商店街をはじめ、市内各所に約2万5千体のひな人形が飾られ、街は華やかな雰囲気包まれた。

先進工学部教育センター・金田晃一研究室は、キュステホール内にブースを出展し、福祉用具や運動学習用具づくりに関する研究成果を展示。来場者と積極的にコミュニケーションをとりながら、大学での取り組みをわかりやすく紹介した。

ブースには子どもから高齢者まで多くの来場者が訪れ、大学での研究活動に興味を持

つ様子うかがえた。また、本学の関係者も多く立ち寄られ、学生と言葉を交わすなど、地域と大学とのつながりを感じる場面もあった。



遠見岬神社



販わう会場

出版の お知らせ

炎上必至のプロジェクト その時あなたは？ PMBOK® 第7版 12の原理・原則を事例で伝える物語 （実践的な知恵を伝える『ものがたり』集）

- 著者：PMノウハウ継承研究会SIG
新谷 幸弘（経営デザイン科学科・教授）、他
- 定価：¥2,420（税込）
- 判型：A5
- 頁数：554頁
- 発売日：2025/9/2
- 発行元：Independently published

本書は、プロジェクトが失敗を繰り返す原因である「ノウハウ継承」の課題に挑む一冊である。熟練者の知恵を「ものがたり」として形式知化し、PMBOK第7版の原理・原則を具体的な事例で解説する。第2部では「炎上必至」の修羅場を舞台に、「私ならどうするか？」と自問自答しつつ、実践的な運営のコツを疑似体験できる。若手からベテランまで、現場で生きる知恵を求める全ての関係者にとって、実践的ノウハウが凝縮された必読の書といえる。



新谷 幸弘教授

令和8年度 入学式



令和8年度の入学式は、4月5日（日）午前10時30分から、幕張メッセ・イベントホールで挙行いたします。午前10時に開場、新入生並びに保護者の皆様は開式10分前までにご入場ください。式典終了後、約1時間の基調講演を開催いたします。

2月のできごと

- 2月1日～4日 ○ 入学試験（A日程）
- 2月12日 ○ 米マイクロソフトのケビン・スコット 最高技術責任者（CTO）来訪
AIを活用した教育・研究・起業支援に係る覚書を締結
- 2月17日、18日 ○ 入学試験（B日程）
- 2月24日、26日 ○ 千葉工大生のための企業とのマッチング会（2026年卒対象）
- 2月26日 ○ FDフォーラム

4月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
入学式	新入生ガイダンス（4日～10日）					
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
		昭和の日				
26	27	28	29	30		